

松本ひろかず議員一般質問

市長選の公約実現に向けて、
石川市長の市政運営を問う



12月6日、松本ひろかず議員は、①市長選の公約実現に向けて、石川市長の市政運営を問う、②障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせる入所施設の早期実現を、の2点について一般質問をおこないました。

岩谷候補の公約も
きちんと実現を

10月22日の市長選挙では、わずか8票差で石川市長が4期目の当選を果たしました。

た。2人の公約には共通する点が多くあります。公約は、市民への約束であり、市民の切実な要求です。

(答・市長)

①わずか8票差での当選ということについて、石川

市長の感想を伺います。

答・様々な取り組みが評価されたが、厳しい結果とも受け止めている。

②僅差での当選です。岩谷

候補の公約もきちんと実現しなければならぬと思

いますか、どうですか。

答・私の公約は実現するよう努力する。

③岩谷候補は、「市民の声

が届かない市政から、あなたの声を聴く市政へ」とあります。石川市長は、

「市民の声が届かない市政」であったと批判されたわけですが、どう思いますか。

答・市民のなかには様々な意見がある。

④「県内で一番の奨学金を創設」について、具体的

な内容について伺います。

答・夢の持てるように市独自の奨学金をつくる。

⑤各地区の未来への投資として、幸松地区で4年以

内に「小淵橋通りを梅田・内牧地区へ、不動態野線の

延伸をめざす」とありましたが、実現できるのですか。

答・小淵橋通りの延伸は方向性を検討し、不動態野線の延伸は周辺環境に変

化があったら再検討する。

障害者入所施設なく
安心して暮らせない

第2次総合振興計画では、

「障がいのある人が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせること」となっ

ていますが、市内には入所施設がないために、県内の

施設に183人、県外の施設に33人が暮らしています。

また、市長の公約は「日本一幸せに暮らせる街をめ

ざして、まちづくりの限界に挑む。」です。ならば、

障害者の入所施設を早期に設置すべきですが、どうですか。

市長は「県議会が、国に

対して入所施設を設置したいという社会福祉法人に

対する補助金を強く要望していくということであるので、

関係団体から相談があった場合は、国・県と連携して

対応する。」と答弁しました。

松本議員は、市として入所施設を設置するよう強く求めました。

市立医療センター Tel.735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談#8000

12/12(日) 武井医院(内科系)粕壁1-4-8 Tel.048-752-2019 名越内科医院(小児科系)武里団地1-15-101
Tel.048-735-6627 館浦整形外科医院(外科系)永沼2229-1 Tel.746-4832

12/17(日) 守田内科医院(内科系)南2-6-24 Tel.048-737-6300 久野医院(小児科系)六軒町204 Tel.737-1234
おおつ整形外科(外科系)中央2-17-10昭和ビル3階 Tel.797-5802

